

ミャンマー(ビルマ)雑感

岡本祥一 予科5-7
(川口市) 航空16-4通信

まえがき

10月下旬ミャンマーの仏教遺跡、バガンを訪ねるツアーに参加した。

空路約8時間、ヤンゴン空港着、とたんに強い熱風を感じる。旧首都ヤンゴン市内を回遊しながら、ホテルに向かう。巨大なパゴダの前では、ツアー参加者一同感嘆の声。翌日空路地方便を乗り継ぎバガン着、ヤンゴンから約400km北上、気温は日本の秋と略同じであろうか。

バガンに3泊、次いで空路観光地インレー湖の観光ホテルに2泊し付近の仏教行事を参観、帰途についた。ミャンマーではどこに行っても無数のパゴダが林立しており、上座部仏教の一大聖地である。

この機会にミャンマーについて少し勉強した。現在のミャンマー総人口は約5千万人、そのうちビルマ族は約60%の多民族国家である。また全体の90%は上座部仏教の信者である。

歴史

ビルマ族の古代史が確実視されるのは11世紀に成立したバガン王朝以降である。1287年、モンゴル人の侵略を受け滅亡した。近世に至り英国の侵略を受け、1886年に植民地として過酷な状況に置かれることとなった。

近い時代、我が国との関係は先の大戦にさかのぼる。軍はアウンサン将軍の亡命を受け入れ、ビルマ独立運動を支援、1942年には共同して英軍を追い出し、ビルマ全

土に軍政を敷くこととなった。しかし、アウンサン将軍は日本軍の軍政の下でのビルマ独立に次第に懐疑的となり、かつインパール作戦の失敗を見て翻って英国軍との協力を決意、1945年3月には日本軍に向けて銃口を開いた。

変遷を経て、1948年1月4日ビルマは英国の桎梏を脱出し、独立を宣言する。ただ、アウンサン将軍は独立を見ることなく、前年の7月19日暗殺された。

現在「建国の父」として歴史に名を残している。今ミャンマーで活躍中のアウンスーチー女史は将軍の娘である。

バガン仏教遺跡

ミャンマー平原中部に位置するバガンの地、11世紀ころに成立したバガン王朝は、深く釈迦を信仰し、王族、庶民を含めて代々にわたり大小のパゴダを建立した。その数現在約1300以上(3,000以上とも)と言われている。大部分の小型のパゴダは、庶民が来世の幸福を願って功德を積むため建立したものである。

アンコールワット、ボロブドールと共に世界の三大仏教遺跡として並び称されている。無数のパゴダの林立、そしてもう一つのバガン観光の特徴は、由緒ある大寺院の仏像と併せて釈迦の一生を精細に刻み込んだ壁画群の見学である。膨大な壁画彫刻に注がれたビルマ族の熱意そして深い信仰心に強い感動を覚えた。



パゴダの林立



菩提樹の花

釈迦は菩提樹の下で悟りを開いたと伝えられている。仏教国のビルマではとりわけ菩提樹を大切にしているようである。大寺院の一つアーナンダ寺院を一回りし、ふと見ると庭の一面に灌木が金網で囲われていた。うながされてよく見ると直径 2 ~ 3 cmの小さなピンクの花がたった 1 輪寂しげに咲いていた。菩提樹の花だというのである。

わが住まいの目前に広がる広場の一面にやはり菩提樹と称する灌木が植えられている。初夏の頃黄色味を帯びた香りの高い、ここでの花とは全く形の異なる小さな花が咲く。菩提樹には多彩な品種があるようである。シューベルトの歌曲「冬の旅」にうたわれている {菩提樹} はどのような花をつけるのだろうか。

インパール



インパール要図

ミャンマーに旅して、やはり先の大戦の経過が気になった。ミャンマー人のガイドにそれとなく質問したが、70年の歳月に阻まれ、ほとんど情報は得られなかった。ただ、日本に対し悪感情は持っていないし、マンダレー近辺の日本軍の慰霊碑保存に現地の人たちも積極的に協力しているとのことであった。

ミャンマー中央部の平原を旅して、その昔、我々の先輩がこの地を歩きまわった苦勞がどのようなものであったか、実感せざるを得なかった。

1944年3月から7月上旬にかけて、牟田口将軍の指揮下、インパールに兵が差し向けられた。数百キロに及ぶ原野の移動手段は専ら徒歩であった。戦場に赴くまでがすでに苦闘であった。それでも一部はビルマ北部チドウイン川を越えてインドインパールの北モヒマまで進軍したとされている。

インパール作戦の記述を読むにつれ、我々の先輩の筆舌に尽きせぬ艱難辛苦が思いやられた。もしわが身がその場に立たされたならば指揮官として任務を果し得たか。異国の地に骨をうずめた多くの将兵の無念

を思い瞑目、祈りをささげた。

あとがき

旅行中ミャンマーの総選挙を控え、民主化に努めるアウンサンスーチー女史の活発な運動が目についた。その後の報道では、自由を求めて戦ってきた人たちにとり歴史

的な勝利となった。

ミャンマーの今後の発展を心から願い、筆を置く。(2015年11月下旬)